

富山県感染症発生動向速報

(2026年第10週分・3月2日～3月8日)

■今週の主な動向

○インフルエンザ報告数は2週連続で減少しましたが、依然として多い状況です。

B型の検出割合は89.4%と依然多くを占めています。A型に感染した方でもB型に再感染する可能性があります。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

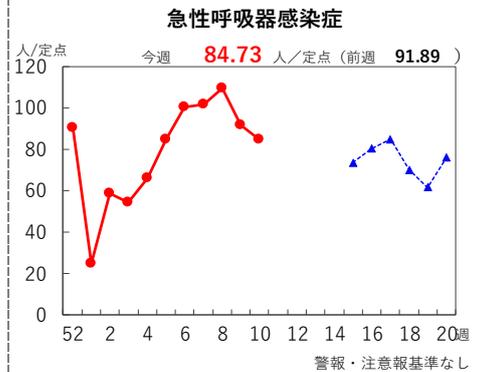
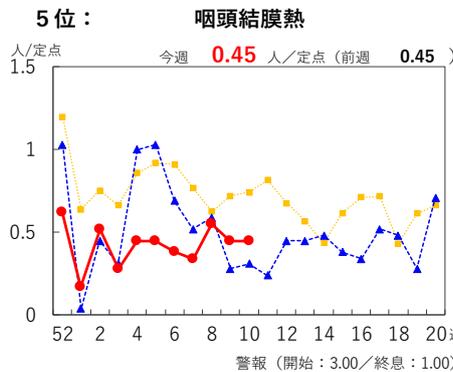
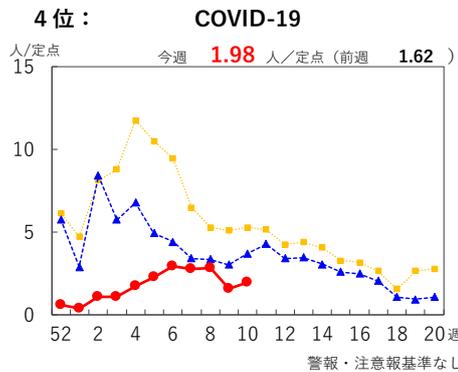
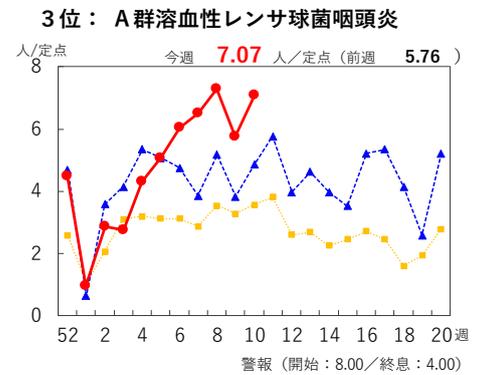
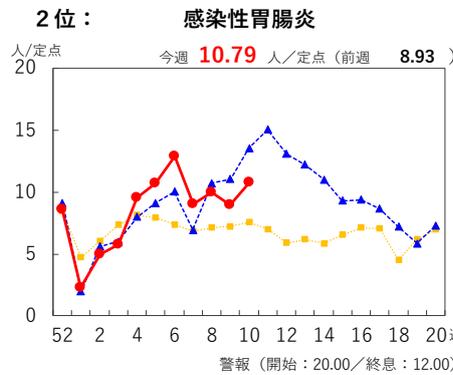
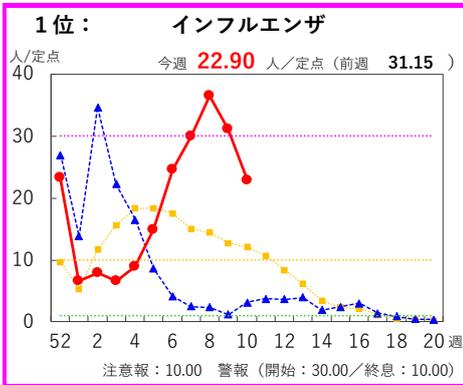
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は先週から増加し、例年より多くなっています。

5歳前後の小児を中心に、例年冬から春にかけて報告数が増加する傾向があります。感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。(第2週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症 (第10週・3/2～3/8)

警報



●現在 ●前年 ●過去10年平均 ●警報 ●注意報 ●流行

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3件 (①②ともに30歳代、女性 ③60歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 2件 (①60歳代 ②70歳代 ①②共に男性、肺炎型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (60歳代、女性)

梅毒 1件 (20歳代、男性、無症候)





麻疹（はしか）拡大中 ワクチン接種歴の確認を！

《 インフォメーション 》

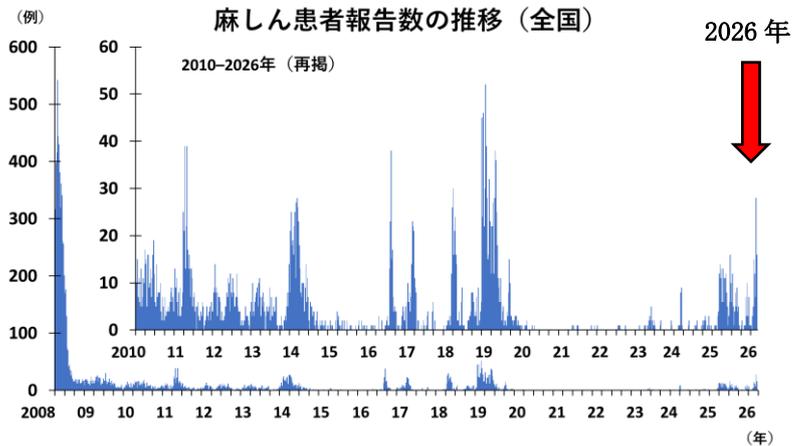
●麻疹

麻疹は、麻疹ウイルスによる急性感染症であり、五類全数把握疾患になっています。麻疹ウイルスは空気感染することから高い感染力を示します。2006年から1歳時と6歳前後に2回の麻疹含有ワクチンの接種が開始されました。また、2008年から5年間、中学1年、高校3年生相当時に2回目の麻疹含有ワクチンを接種したことで、2009年

以降、全国の麻疹患者報告数は大幅に減少しました（図）。この状況から、2015年にWHOは日本が麻疹の排除状態であると認定しました。しかし、排除認定後も海外からの輸入例や、輸入例からの感染事例が散発的に認められています。ワクチン未接種の小児だけでなく、接種歴のある若年者にも感染が拡がるのが問題となっています。

2024年度の感染症流行予測調査では、ほぼ全ての年齢層で95%以上の抗体保有率が維持されています。2020～2022年の期間には新型コロナウイルス感染症に対する水際対策等により報告数が減少しました。対策緩和後の2023年には年間報告数は28例と増加し、2025年の年間報告数は265例、2026年は第9週時点で87例と増加傾向にあります（図矢印）。感染者の中には、ワクチン未接種もしくは接種不明者が多く含まれています。また、推定感染地域が「国外」及び「国内または国外」の感染者の国別報告数において、インドネシアが最多となっています。富山県内では、2020年以降麻疹患者の報告はありませんが、今後の麻疹の国内外の発生動向に注意が必要です。

麻疹の初期症状には発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛などがあります。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し4～5日高熱が続きます。潜伏期間は10～12日程度です。風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程度の期間は他人にうつす可能性があります。麻疹を疑って医療機関を受診する場合は、あらかじめ電話の上、医療機関の指示に従って受診してください。その際には公共交通機関の利用を避け、自家用車等で受診してください。麻疹の予防方法は、ワクチン接種をすることです。麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）は定期接種として予防接種法で定められています。2回のワクチン接種歴がある場合は、高い確率で感染を防ぐことが可能です。麻疹の罹患歴、ワクチン接種歴がない方は、かかりつけ医にご相談の上、ワクチン接種をご検討ください。（<https://www.pref.toyama.jp/120511/kurashi/kenkou/iryuu/kj00019007.html>：富山県HP）



定期接種の対象者（第1期：1歳児、第2期：小学校入学前1年間の小児）※は、ワクチン接種を忘れずに！

※MRワクチンの偏在等により令和6年度中に接種ができなかった方について、接種期間が2年間（令和7年4月1日から令和9年3月31日まで）延長されます。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第10週 2026年3月2日～2026年3月8日）

分類	疾患	今週報告分（第10週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核	1				2	3	1		5	1	9	16	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1					1	1		2	1	5	9	
	四類感染症	レジオネラ症		1			1	2	1	1	1	1	2	6	
	五類感染症	急性脳炎							1					1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1			2	3
		侵襲性インフルエンザ菌感染症												1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症			1				1	1		2		2	5
梅毒						1	1	1	2	2			3	7	
百日咳								1				6	7		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	387	401	1,243	398	1,638	4,067	3,953	3,215	11,556	3,390	14,301	36,415	
			55.29	80.20	95.62	56.86	102.38	84.73							
		インフルエンザ	96	134	265	107	497	1,099	1,106	721	2,590	1,017	3,458	8,892	
		13.71	26.80	20.38	15.29	31.06	22.90								
		COVID-19	14	6	30	8	37	95	212	98	159	76	337	882	
			2.00	1.20	2.31	1.14	2.31	1.98							
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	1	1		3	6	18	8	23	4	33	86	
			0.25	0.33	0.13		0.30	0.21							
		咽頭結膜熱	1		7		5	13	17	5	56		38	116	
			0.25		0.88		0.50	0.45							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	7	84	18	91	205	62	84	596	93	570	1,405	
			1.25	2.33	10.50	4.50	9.10	7.07							
		感染性胃腸炎	36	29	70	12	166	313	273	222	563	124	1,267	2,449	
			9.00	9.67	8.75	3.00	16.60	10.79							
		水痘		2		1	3	6		5	21	5	41	72	
				0.67		0.25	0.30	0.21							
		手足口病									1		1	2	
		伝染性紅斑	2					2	3		13	4	8	28	
		0.50					0.07								
突発性発しん			5		1	6	4	8	27	6	25	70			
			0.63		0.10	0.21									
ヘルパンギーナ	1					1	12					12			
	0.25					0.03									
流行性耳下腺炎								1				3	4		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							5	1				6		
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1		
	マイコプラズマ肺炎							6		1	2	2	11		
	クラミジア肺炎										1		1		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）				4		4	48	41	47	37	91	264		
	COVID-19による入院患者				1	1	2	11	13	4	5	32	65		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が89.4%となっています。

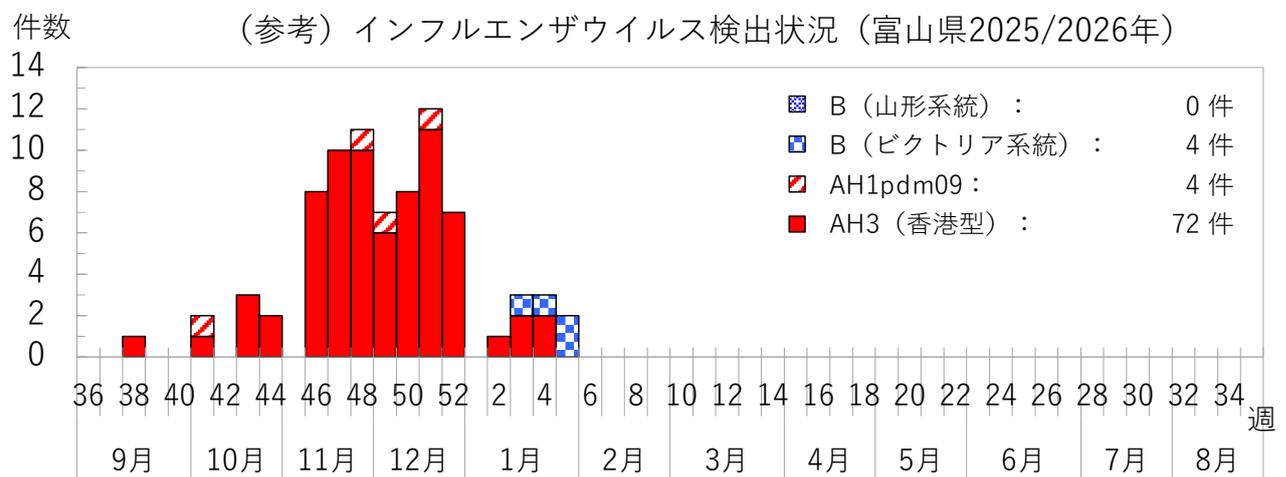
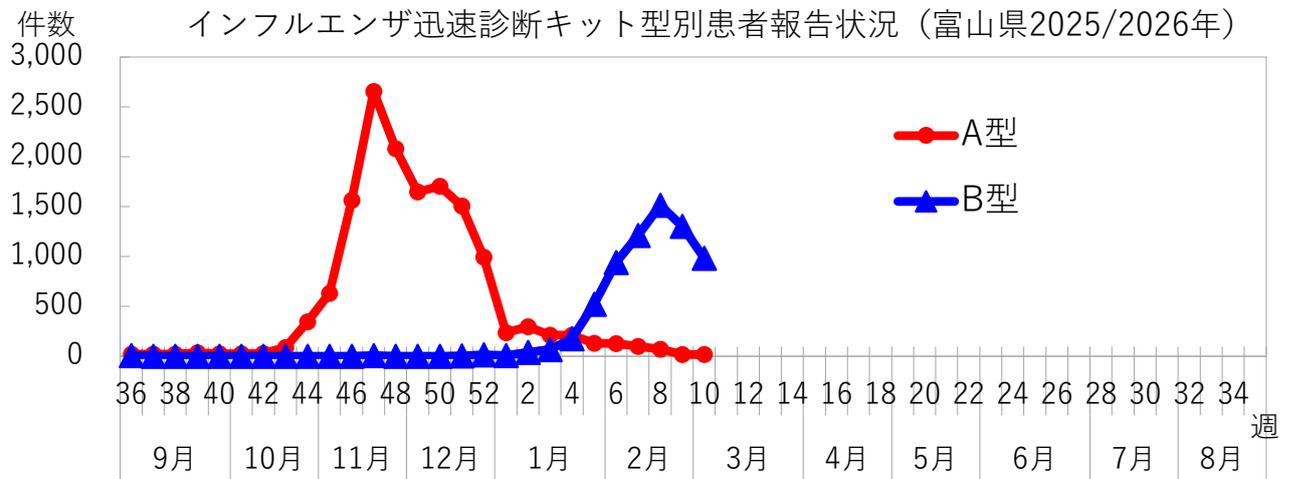
第10週（3/2～3/8）：富山県 22.90人/定点

（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	6	83	7	96
中部	5 / 5	4	112	18	134
高岡	13 / 13	4	237	24	265
砺波	7 / 7	2	100	5	107
富山市	16 / 16	1	451	45	497
富山県	48 / 48※1	17	983	99	1,099
富山県累計（2025年36週～）		14,826	6,816	1,866	23,508

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

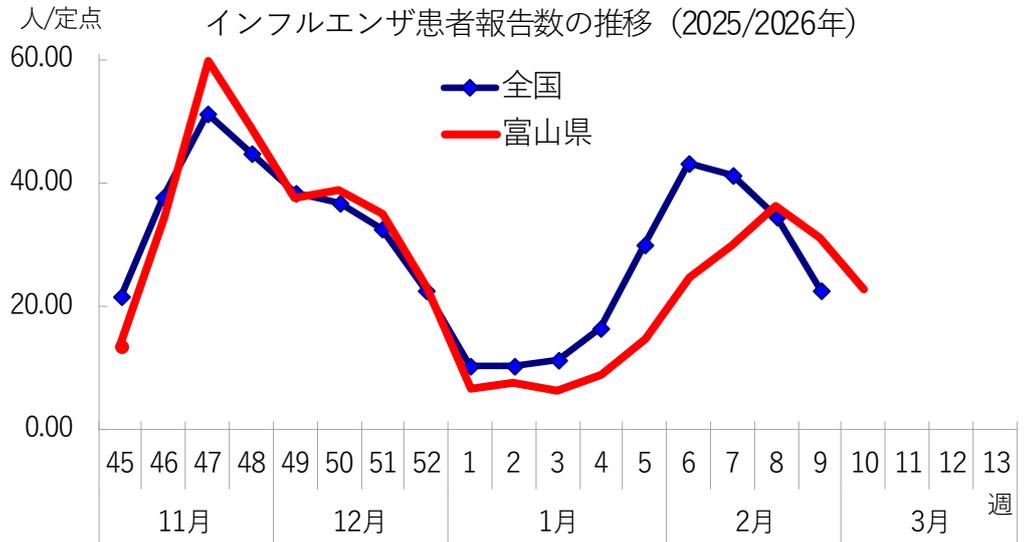


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第10週（3/2～3/8）

富山県 22.90人/定点 [新川（13.71）、中部（26.80）、高岡（20.38）、砺波（15.29）、富山市（31.06）]

今週の県内の患者報告数は、22.90人/定点となり、先週（31.15）より減少しました。

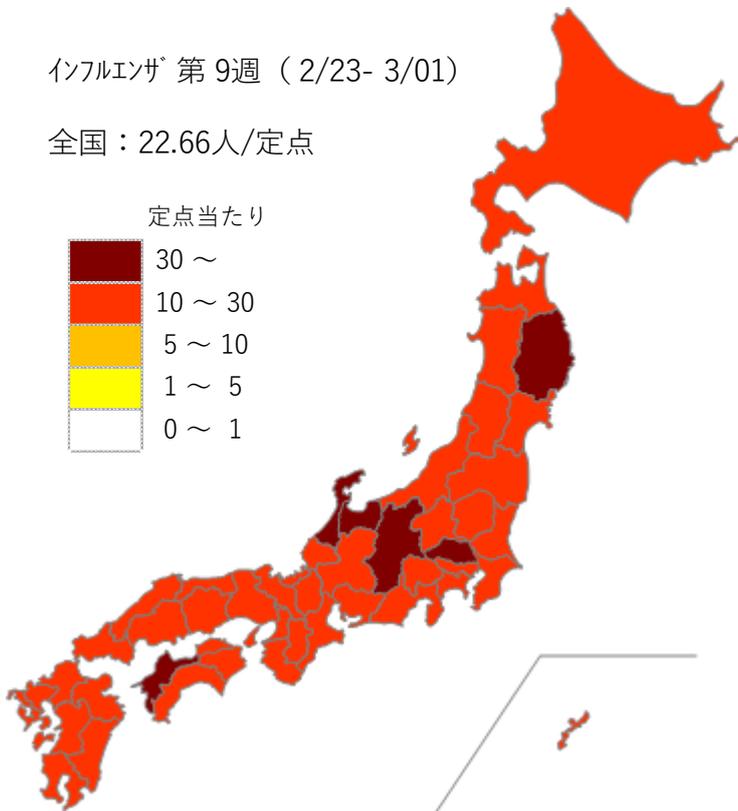
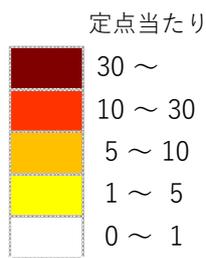


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第9週（2/23～3/1）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 22.66 人となり、前週の 34.56 人より減少しました。2 県で前週より増加しています。45 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第9週（2/23- 3/01）

全国：22.66人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	23.05 ↓	滋賀県	22.60 ↓
青森県	27.29 ↓	京都府	25.58 ↓
岩手県	32.95 ↓	大阪府	17.30 ↓
宮城県	21.02 ↓	兵庫県	21.34 ↓
秋田県	18.88 ↓	奈良県	26.21 ↓
山形県	25.00 ↓	和歌山県	18.80 ↓
福島県	26.92 ↓	鳥取県	19.10 ↑
茨城県	21.43 ↓	島根県	19.20 ↓
栃木県	24.49 ↓	岡山県	25.04 ↓
群馬県	25.73 ↓	広島県	20.45 ↓
埼玉県	30.21 ↓	山口県	28.76 ↓
千葉県	21.92 ↓	徳島県	20.15 ↓
東京都	19.18 ↓	香川県	15.04 ↓
神奈川県	21.72 ↓	愛媛県	31.78 ↓
新潟県	28.67 ↓	高知県	10.63 ↓
富山県	31.15 ↓	福岡県	25.27 ↓
石川県	34.40 ↑	佐賀県	22.67 ↓
福井県	23.82 ↓	長崎県	25.49 ↓
山梨県	15.40 ↓	熊本県	22.71 ↓
長野県	37.16 ↓	大分県	24.74 ↓
岐阜県	19.22 ↓	宮崎県	26.46 ↓
静岡県	15.63 ↓	鹿児島県	24.02 ↓
愛知県	24.32 ↓	沖縄県	19.73 ↓
三重県	19.57 ↓	全国	22.66 ↓



○感染症発生動向調査報告状況（2026年2月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		2月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			4		3	7			9		10	19
				1.33		0.75	0.70						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			3	4		1	1		5	7
			1.00			0.75	0.40						
	尖圭コンジローマ			1		2	3			2		4	6
				0.33		0.50	0.30						
	淋菌感染症					1	1			1		3	4
						0.25	0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	3	2	2	2	10	1	5	4	2	4	16
		1.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。